

【学校関係者評価委員の皆様からの御意見と学校としての対応】

学校関係者評価委員様からの御意見	学校としての対応
【「心豊かに、明るく元気にさわやかな下灘の子」を育成するために】	
○ 学習発表会や体験・交流活動等の教育の場で、児童の個性や特技を生かした教育活動ができている。令和6年度は下灘小学校開校150周年目に当たる。この記念行事を中心に据えて、さらに児童の個性や特技を生かした様々な教育活動に挑戦して取り組んでいってほしい。そして、「地域とともにある学校」、「学校を核とした地域づくりをする学校」の実現を目指して取組を進めてほしい。	○ 令和6年度の下灘小学校150周年記念行事に向けて、創立150周年記念実行委員会を立ち上げ、①総務・式典部会、②記念行事部会、③記念誌部会の三つの専門部会で、どのような活動ができるかを検討している。その際に、児童の個性や特技を生かした活動を企画していきたい。また、授業の場においても、児童一人一人の個性や特技を生かし、授業中に児童が活躍できる授業展開等を工夫していきたい。
【管理・運営の徹底を図るために】	
○ 学童クラブでも地震や火災などの災害に備えた避難訓練を行っている。たが、1月に発生した能登半島地震の被災状況を見て、津波が発生した際には、小学校への避難も考えている。地域では、災害発生時には独居老人の安否確認も必要不可欠である。今後は、南海トラフ地震を想定して、学校を含めた地域全体の避難訓練や防災のあり方を検討していく必要もあるのではないだろうか。また、他市においては防災用のヘルメットが学校に配備されているところもあると聞いている。伊予市に防災用のヘルメットの配備を要請してほしい。	○ 南海トラフ地震のような大規模災害を想定した場合、学校単一の避難訓練だけでは限界がある。地域全体での避難訓練、避難所開設等の練習が必要であると考え。そのために、学校運営協議会とも協議の上、関係諸機関（市役所、公民館、保育所、消防署、警察署等）との連携した避難訓練についても検討していきたい。